


テーマ	遊びによる子どもの育成
-----	-------------

区市町村	品川区
児童館名	東品川児童センター（ひがししながわじどうせんたー）
活動名	スラックライン
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「スラックライン」という新しいスポーツへ挑戦する気持ちや継続する力を育成し、技を習得した時の達成感を体験させる。</li> <li>・幼児から18歳までの児童とその保護者の交流を図り、子どもたちの体力増進、体幹や集中力の強化を図る。</li> </ul>
主な対象	幼児から大人まで
活動の経緯 実践内容	<p><b>【経緯】</b> 施設の構造上、子どもたちがボール遊びなどをするスペースに限りがあり、またティーンズプラザ（中高生館）という特性上そのスペースも中高生の利用が多く、遊ぶ場所の確保が課題であった。あそび場を求めてきた子どもたちがボール以外に思い切り体を使うことができ、また達成感を味わえるようなものを模索していたところ、他館で取り入れていた「スラックライン」という競技を知り、導入した。</p> <p><b>【スラックラインとは】</b> 幅5cm程の専用ベルト状ラインを2点間で張り渡したものであり、その上を歩いて渡ったり、ライン上で様々な技（トリック）やジャンプなどを行うスポーツである。バランス感覚や体幹を鍛え、集中力を高める効果がある。</p> <p><b>【実践内容】</b> ①会場整備 初めてスラックラインを体験する子どもでも気兼ねなく参加できる様、乗りやすい20cmの高さのラインから高難度の技の習得を目指す子ども向けの70cmのラインまで、様々な高さのラインを用意している。活動は毎週1回行っており、そのうち月2回は専門のインストラクターによる指導日を設定し、技術の向上に努め、新しい技（トリック）に挑戦する楽しさ、スラックライン競技の魅力を伝える。</p> <p>②導入 スラックラインは、幼児から大人まで幅広い世代で体験することができるものである。練習次第では、子どもでも大人より難易度の高い技（トリック）を習得することもできる。初めて体験する子は、まずラインの上でバランスを取りながら乗ることに慣れる。慣れてきたら少しずつ難易度をあげていく。初めて体験した小学生でも1日で安定して歩けるようになる子もいる。保護者が一緒に来ている場合は、保護者も巻き込んで体験してもらい、思っているよりバランス感覚や体幹が必要なスポーツであるということを理解し、一緒に上達する喜びを共有してもらおう。</p> <p>③継続</p>

	<p>継続して続けたい、新しい技（トリック）もできるようになりたいという気持ちを養うため、上達別検定表（初級・中級・チャレンジ）を作成する。できるようになった技（トリック）は、個人ごとの検定表にスタンプを押すことにより、達成感を得る。さらに新しい技へ挑戦する気持ちを育成する。</p> <p>⑤職員としてのかかわり 初めて体験する子どもたちが一人でも気兼ねなく参加できる様、声掛けをしていく。講師の指導日でない日も継続的に体験できるよう職員も自ら基本的な技術を習得し、サポートをする。また子どもたちが安心して参加できる様、エアーマットや滑り止めの設置、滑らないよう裸足もしくは靴での参加、ラインには一人ずつ乗り周りで走りまわらないよう指導するなど、安全管理を徹底する。</p>
<p>活動の経緯 実践内容</p>	<p><b>【スラックライン ライド オン フェス】</b> 平成30年度12月に区内初、児童センター合同スラックライン交流大会「スラックラインライドオンフェス」を品川区立滝王子児童センターにて実施し、令和元年11月30日には第2回を開催した。各館の取り組みの成果を発表する場を設けることで、スラックラインの楽しさを共有し交流を深めた。またスラックラインの魅力を広めることを目的に、初心者から参加しやすいようラインに乗っている時間を競う「タイム部門」を設定した。オープニングでデモンストレーションを行い、参加者同士のテクニックを競う「トリック部門」の審判も担当したのは、プロで活躍している参加者と同じ小学生だった。参加者にとっては同世代の活躍がより競技に親近感を感じてもらえ、新しいことへの挑戦する気持ちを育成することにつながった。幼児親子から小学生まで多くの参加があり、実際に体験することによりスラックラインを知るきっかけとなった。今後も継続し、品川の子どものスラックライン競技人口増加につなげていきたい。</p>
<p>効果や課題</p>	<p><b>【参加者の声】</b> 「技ができないと悔しいけど、何度も練習するとできるようになって楽しいです。新しい技に挑戦するのが面白いです。」（子どもの感想） 「技が成功した時の達成感が一番好きです。新しい技を覚えられたらもっと楽しくなるのでそういうところがスラックラインの楽しみです。」（子どもの感想） 「初めは一緒にやっていたのに、今では子どもの方がどんどんできる技が増えていきます。子どもの集中力はすごいですね。私も負けずに一緒に練習します。」（母親の感想）</p> <p><b>【効果】</b> 上記の感想の通り、目的が十分に達成された。 継続して練習することに楽しさを感じ、習得した時の達成感を得ることができた。 新しいことへ進んで挑戦することの楽しさを育成することができた。 子どもも大人も一緒になって参加することができ、親子の絆を深められた。</p> <p><b>【課題】</b> 参加者の増加のために、インストラクターによる指導時間の増加を検討する。また職員のスキルアップを図り、子どもたちへの指導力を強化する。 低学年の参加者の定着のために、広報の工夫や保護者との連携に努める。</p>
<p>活動写真</p>	

## 児童館のプロフィール

児童館名	品川区立東品川児童センター
運営主体	公設公営
所在地・電話番号	品川区東品川1-34-9 / 03-3472-5806
開館日・時間・休館日	開館日 月曜日～日曜日 9:00～18:00 (月・水のみ中学生以上は～19:00) 休館日 年末年始 (12/29～1/3)